

水の文化

アクアーツリズム

水循環考



ミツカン水の文化センター

表紙

上：水をたたえた田んぼが、眠りから目覚めて命を宿す。水俣市久木野ふるさとセンター愛林館が、2005年から毎年行なっている「棚田のあかり」。棚田が美しさで力強さを持つことを、見る者すべてが心に刻む祭りである。

下：地元の子供たちも一緒に働く。2000個の竹筒だから、着火用のたいまつも半端な数ではない。

裏表紙

上：舫ワークスの岡裕二さんが飛んでる！ここは、浮き島神社のそばにある馬洗い場。地面に衝撃を加えると、水底から泡が出てくるのがわかる。まさに浮島だ。

下左：「あかりの正体」。使用済みの天ぷら油を加工したバイオディーゼルの燃料を使う。燃料を吸い上げるための芯は、棚田で穫れた稲藁。使い終わった竹筒は、炭にして棚田の土壌改良に。

下中：代掻きを終えた棚田の昼間の風景。

下右：今年の「棚田のあかり」助っ人は約50人。熊本大学の徳野研究室の学生が中心となって手伝いに来る。この交流から、美しいムラづくりが発展することが望まれる。



- 橋爪紳也「シビックプライドと地域ブランド」
- 大隅一志「水文化と結びついた旅」
- 徳野貞雄「ツーリズムは功罪を超えるか」
- 小嶋一誠「戦略的な水資源」
- 金子好雄「手永制度が育んだ肥後人気質」
- 的場弘行「地下水益と共存する政策へ」
- 山口力男「訪れる人と共有する生業の場」
- 藤村美穂「産業の変遷と景観保全」
- 水の文化楽習実践取材「ブラックツーリズムのススメ」
- シリーズ里川「マイ蛇口を持って深井戸天然水を飲もう」
- 古賀邦雄 水の文化書誌「熊本の水循環」



水の文化
2010
35